



潟上市章

かたがみ
Katagami

市議会だより

第39号

『未来に残したい 潟上の原風景』



スカイタワーから望む日本海

12月定例会

H27(2015)01.01

平成27年(2015年)
1月1日発行

■年頭のあいさつ……………2	■委員会報告……………6・7
■12月定例会……………3・4	■一般質問……………8～11 6氏が市の方針をただす
■臨時会……………5	■地方自治功勞……………12
■関係私企業の請負契約等…5	■賛否一覽……………12



新年にあたって

鴻上市議会議長 伊藤 榮悦

明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい平成27年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素より議会運営に対し温かいご指導、ご理解を賜り心から厚く御礼申し上げます。

振り返ってみますと、青色発光ダイオード(LED)を開発した日本人3氏がノーベル物理学賞受賞という喜ばしい出来事がありました反面、地球温暖化の影響と考えられる豪雨や爆弾低気圧による災害の発生。歳末には、消費税10%への実施延期・アベノミクス評価を主な争点に衆議院解散総選挙が行われ、国民投票率戦後最低の52・66%、「一強多弱」という政治状況が生じており、民主政治の源泉である国民主権の存在意義を改めて考えさせられました。

本年は、「一人ひとりが輝く、人と環境に優しい田園都市」鴻上市が誕生してから、記念すべき10年目を迎えております。新市建設計画に基づき鴻上市総合発展計画を策定し、時代の変化に対応しながら、市民の安全・安心の豊かな生活の実現を目指し、市民・当局・議会が「三位一体」となって英知を結集して市政運営を行って参りました。その間、政治の主人公である市民との協働による民主的自治実現のため、自治の憲法といわれる「自治基本条例」や「議会基本条例」並びに「議会議員政治倫理条例」を制定するなど、市民に開かれた市政の実現に努めて参りました。

今年度末には、待望の新庁舎が完成し、分庁方式から本庁方式に移行することになります。また、平成27年度からは合併特例交付金の段階的減額が始まります。効率的な行政運営、財政健全化の確立に努め、安全で安心の心豊かな市民生活実現に全力を傾注して参ります。

本年も市政並びに市議会に対し、昨年にも増して温かいご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心から祈念し、年頭のごあいさつといたします。



あけまして
おめでとう
ございます

- 議長 伊藤 榮悦
- 副議長 鈴木 斌次郎
- 議員 鑑 仁志
- 議員 堀井 克見
- 議員 佐々木 嘉一
- 議員 小林 悟
- 議員 井昭二郎
- 議員 澤原 幸雄
- 議員 藤原 敏雄
- 議員 佐藤 敏雄
- 議員 藤原 典男
- 議員 西村 武
- 議員 千田 正英
- 議員 戸田 俊樹
- 議員 菅原 理恵子
- 議員 中川 光博
- 議員 佐藤 義久
- 議員 児玉 春雄
- 議員 大谷 貞廣
- 議員 伊藤 正吉
- 議員 菅原 久和

(議席順)

事務局職員一同

2014年

12月定例会

12月4日～18日

全案可決

一般会計補正予算

【補正額】

1,202万2千円

【総額】

200億5,706万2千円

歳出の主なもの

- 福祉灯油購入費助成事業

2,028万円

- 天王総合体育館アリーナ照明改修工事

502万1千円

- 有線放送設備修繕

283万9千円

- ごみ分別収集
(ごみ袋 不燃 [小]・びん [小])

207万1千円

特別会計補正予算

単位：千円

		補正額	補正後の 予算額
国民健康保険事業		16,648	3,999,240
後期高齢者医療		3,600	278,716
介護 保険 事業	保険事業勘定	114,058	3,454,640
	介護サービス 事業勘定	1,895	10,144
農業集落排水事業		△ 39	102,703
下水道事業		△ 2,786	1,224,702

水道事業会計補正予算

単位：千円

		補正額	補正後の 予算額
収益的収入		4,951	582,924
収益的支出		3,936	544,927
資本的収入		14,458	226,954
資本的支出		278	477,439
補てん 財源	現年度損益 勘定留保資金	△ 14,180	168,741

提出された

主な条例や議案

◎行政組織条例の一部を改正する
条例

部の統合及び所掌事務の変更に伴い、関係部分を改正するもの。
・市民生活部と福祉保健部を統合し「市民福祉部」を創設
・総務部の所掌事務に消防・防災、有線放送を追加

◎市役所追分出張所設置条例の一部を改正する条例

行政組織機構の変更による出張所の設置及び新庁舎への移転に伴い、関係部分を改正するもの。
・条例の名称を「市役所出張所設置条例」に改正
・天王出張所、昭和出張所、飯田川出張所を追加

◎新市建設計画の変更

東日本大震災による被害を受けた合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の改正に伴い、合併特例債を起債することができ期間が延長されたため、計画の一部を変更するもの。
・計画期間を平成31年度までの5年間延長する

12月定例会に提出された議案等

◆専決処分

承認

- ・一般会計補正予算（第4号）

◆条例の制定・改正

全案可決

- ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
- ・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ・行政組織条例の一部を改正する条例

- ・市役所追分出張所設置条例の一部を改正する条例
- ・一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
- ・道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
- ・集会所設置条例の一部を改正する

条例

- ・自治会館設置条例の一部を改正する条例

- ・公告式条例の一部を改正する条例
- ・有線放送電話の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例

- ・防災行政無線通信施設設置条例の一部を改正する条例
- ・福祉事務所設置条例の一部を改正する条例

- ・人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例
- ・戸別合併処理浄化槽の整備に関する条例の一部を改正する条例

◆単行案

原案可決

- ・新市建設計画の変更

◆補正予算

全案可決

- ・一般会計補正予算（第5号）
- ・国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

- ・後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）

- ・介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

- ・農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

- ・下水道事業特別会計補正予算（第3号）

- ・合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）

- ・水道事業会計補正予算（第3号）

◆人事案件

- 豊川財産区管理委員

森 久樹氏 新任

（昭和豊川槻木字真形尻）

◆請願

採択

- ・農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する請願

- ・米の需給安定対策に関する請願書

◆陳情

採択

- ・ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情
- ・安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書
- ・介護従事者の処遇改善を求める陳情書

情書

- ・児童館に関する陳情書

- ・道路（歩道）整備に関する陳情書

- ・介護従事者の処遇改善を求める陳情書

- ・林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書採択に関する陳情について

- ・専ら被保険者の利益のための年金積立金の安全かつ確実な運用に関する意見書の提出について

- ・年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める陳情

◆陳情

不採択

- ・消費税10%への引き上げの中止を求める意見書の提出についての陳情

◆陳情

継続審査

- ・労働法制の改悪に反対し安定した雇用の実現を求める陳情

- （産業建設常任委員会）

- ・集团的自衛権容認の閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める陳情

- （総務文教常任委員会）

第2回臨時議会は11月17日に開催され、専決処分¹の報告、工事請負契約の締結および一般会計補正予算を可決しました。

◆議案の内容

●損害賠償の額を定めることについて

(専決処分)

●工事請負契約の締結

◆新庁舎車庫棟2建設工事

契約者 (株)沢木組

契約金額 1億6,956万円

落札比率 87・34%

工期 平成27年4月17日

※賛成多数で可決

●平成26年度一般会計補正予算(第3号)

補正予算の総額は280万8千円の追加で、国民文化祭実行委員会補助金です。

内容は、国民文化祭開催記念カレンダーを作成し、全戸配布するものです。



－ 関係私企業との請負契約等の状況について －

議会議員政治倫理条例にかかわる関係私企業との請負契約等の状況について、市長より報告がありましたので次のとおり公表します。

【条例施行日(平成25年10月1日)以降】

関係する議員	事業名	請負契約等の内容	請負人の氏名	契約形態	請負契約等の金額(実績額)	発注期日(契約年月日)	契約期間
鑑 仁志	アメシロ防除事業	トレポンの購入	鑑惣米穀店	請書	259,200円	平成26年5月9日	平成26年5月9日～平成26年5月15日
				請書	259,200円	平成26年5月26日	平成26年5月26日～平成26年6月2日
				請書	259,200円	平成26年6月9日	平成26年6月9日～平成26年6月13日
				請書	259,200円	平成26年7月7日	平成26年7月7日～平成26年7月11日
藤原 幸雄	市単独事業	市立学校等給食物資納入	藤原精肉店	随意契約(単価契約)	1,134円/kg(1,659,636円)	平成26年4月1日	平成26年4月1日～平成27年3月31日
西村 武	循環型社会形成推進交付金事業	ストックヤード整備工事	(株)西村建設	競争入札	35,542,500円	平成25年10月25日	平成25年10月25日～平成26年3月20日
	冬期道路除排雪作業業務委託	除排雪作業		随意契約(単価契約)	1,550,850円(1,550,850円)	平成25年12月1日	平成25年12月1日～平成26年3月31日
	下出戸分館体育館雨漏調査委託	屋根雨漏調査委託業務		請書	270,000円	平成26年10月7日	平成26年10月7日～平成26年10月31日
千田 正英	市単独事業	活性炭納入	(有)チダ薬局	競争入札(単価契約)	712,800円/t(712,800円)	平成26年5月2日	平成26年5月2日～平成27年3月31日
		消石灰納入		競争入札(単価契約)	46,440円/t(727,250円)	平成26年5月2日	平成26年5月2日～平成27年3月31日
		炭酸ソーダ納入		競争入札(単価契約)	129,600円/t(777,600円)	平成26年5月2日	平成26年5月2日～平成27年3月31日
		凝集剤納入		競争入札(単価契約)	21,870円/t(349,920円)	平成26年5月2日	平成26年5月2日～平成27年3月31日
		苛性ソーダ納入		随意契約(単価契約)	74,520円/t(152,765円)	平成26年5月2日	平成26年5月2日～平成27年3月31日
		市内小・中学校プール薬品購入		随意契約	477,144円	平成26年5月23日	平成26年5月23日～平成26年6月30日

※実績額は平成26年10月末現在

Q&A

総務文教

市はどう答えたか

委員長	大谷 貞廣
副委員長	佐藤 敏雄
委員	堀井 克見
委員	佐々木嘉一
委員	西村 武
委員	千田 正英
委員	鈴木斌次郎

●特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

問 条例制定となった理由は。

答 子ども子育て支援法の制定公布に伴い、事業者が行う施設の基準やサービスを規定し、少子化対策や子育て支援に供するものです。



出戸こども園

●家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

問 条例制定の趣旨は。

答 地域型保育（0才～2才）が対象で少人数で子どもを預る事業で小規模保育・家庭的保育・事業者内保育の運営基準を定めたものです。

●放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

問 条例制定の趣旨は。

答 放課後児童クラブとして運営をしている施設・設備・運営について規定しました。

●平成26年度一般会計補正予算（第5号）

問 地方債のうち道路整備事業債4,640万円の減額の理由は。

答 6路線について、予定していた起債は交付税算入がないことにより借入れをしないためです。

問 国から交付される「がんばる地域交付金」1億3,600万円を温泉井掘削と水道事業の繰出金に充てた理由は。

答 からの温泉井掘削の当初の予定財源は交付税算入はなく、また水道繰出金の充当は、大崎地区が交付金に該当するため切り替えました。

問 八郎潟ハイツに関する謝礼61万円の内訳は。

答 審査委員には大学の先生3人分1回3万円で2回分と委員長は報告書作成のため1回分を追加提案業者には8社分（1社当り5万円）です。

問 プロポーザルの成果品にはランニングコスト、費用対効果も含むか。

答 県の未来づくりプロジェクトとして提案するので仕様書作成の重要事項であり事業申請に耐える条件となるので当然のことです。

Q&A

社会厚生

市はどう答えたか

委員長	鏡 仁志
副委員長	菅原 久和
委員	澤井昭二郎
委員	戸田 俊樹
委員	伊藤 正吉
委員	伊藤 榮悦

●平成26年度一般会計補正予算（第5号）

問 ごみ収集委託料の減額の理由は。

答 業者の見積り及び市の積算を基に予算計上しておりますが、予定価格設定に伴い落札するもので、その契約差額です。

問 福祉灯油購入助成事業の一世帯当たりの助成額は。

答 市民税非課税の高齢者世帯及び重度障害者世帯には1万円、ひとり親世帯及び生活保護世帯には5千円を助成します。

問 子育て世帯特例給付金の当初の対象者数は。

答 当初予算で3,234人分を予算措置していましたが、今回の補正は、256人分を追加し、合計3,490人分とするものです。

問 天王保健センターのエアコン設置工費が47万8千円減額の契約内容は。

答 契約は指名競争入札で行っており、エアコン設置工費の当初予算額は1,148万5千円で、契約額は1,090万8千円です。契約差額57万7千円のうち、飯田川保健福祉センターの修繕費に9万9千円を流用したため、残額47万8千円を減額しています。

●平成26年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

問 人間ドックに係る減額について、当初予算編成時に想定できなかったか。

答 当初予算では、人間ドックの申込方法をこれまでの受付先着で計上しておりましたが、改善する点があるため、検討した結果、抽選方式に変更したものであり、受付時に対象者を決定できないため、自己負担分を医療機関へ直接支払うことにしたものです。

問 ドック受診枠と希望者数は。

答 日帰りドック受診枠は今年度20人増やし100人とし、一泊ドックは昨年と同じ47人枠でしたが、実際の申込者数は、日帰り103人、一泊が49人で、若干オーバーとなりました。医療機関に確認したところ、すべて受診可能とのことでしたので、今年度は抽選を行わずに申込者全員を対象としています。

問 出産一時金の流れは。

答 出産費用42万円以上の場合、市から医療機関へ直接支払われ、超えた部分は本人が負担することになります。42万円を下回った場合は、その差額分を本人から市へ請求し、本人に支払うこととなります。



人間ドック

Q&A

産業建設

市はどう答えたか

委員長	中川 光博
副委員長	菅原理恵子
委員	小林 悟
委員	藤原 幸雄
委員	藤原 典男
委員	佐藤 義久
委員	児玉 春雄

●道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

問 延滞金の年利14.6%はいつからか。また、このことにより過誤納金還付は発生しないのか。

答 平成17年の合併当初からで、過去に滞納した事例がないので発生しません。

●平成26年度一般会計補正予算（第5号）

問 農地集積についての現在の状況また将来的な展望等については。

答 産業課では、中間管理機構から借り受ける人や機構に貸し付けする人等の受付業務をしています。申し込み状況は借り受け希望が多く貸し付け希望が少し足りないようです。今後も関係機関との協力を図りながら業務を推進していきます。

問 各特別会計への繰出金が今回減額される理由は。

答 平成25年度の繰越金を充当したことにより一般会計の繰出金が減額になったものです。9月の決算議会で繰越金の額が確定するので、毎年12月に精算し計上しています。

問 天王グリーンランドまつりの今後の課題は。

答 本年は、市制施行10周年ということもあり、特に花火ショーについては市からの補助金も増額しました。花火協賛金については、これまで以上に多くの方々よりご協賛いただきましたが、さらに拡充していきたいと思っています。



天王グリーンランドまつり

●平成26年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）

問 マンホールポンプ3箇所分は。

答 今後予期しないマンホールポンプの故障等に備え40万円の3箇所分を計上しています。

●平成26年度水道事業会計補正予算（第3号）

問 資本的収入に計上している負担区分に基づく出資金の詳細は。

答 大崎地区の水道整備事業の平成26年度の補助対象事業費1億9,337万5千円が、がんばる元気交付金の対象となったため、そのうち3分の1にあたる6,445万8千円が交付金算入されることから、既に予算化された5,000万円に差額分の1,445万8千円を追加で計上したものです。

住宅リフォーム助成制度の拡充



藤原 典男
議員

質問 住宅リフォーム助成制度を来年度も継続するよう県に要請すること、中小の店舗の改修にも利用できるように、工事の最低限度額50万円を引き下げて利用しやすくできないものか。

答弁 本市では事業スタートから現在までの申請件数は1,877件、補助金額は2億4,420万円、全体工事費は31億2,850万円に達しております。経済効果は低迷する地域経済への有効な活性化対策となっております。今後も引き続き需要があるものと推察し、

米価格の暴落への対応は

質問 米価格の暴落で生産費にも満たない概算金となったが、米の生産農家の生活を守るために、仙北市では60キロ当たり200円の

県に強く継続を要望しております。店舗への補助は住宅への対応とは趣旨が違うので、本市では考えておりません。県内ではこの事業を行っている自治体は22市町村で、そのうち本市の補助対象額50万円以上より下回った額を採用しているのは11市町村ですが、補助対象額50万円以下だと県の補助金が受けられません。限度額の引き下げは、県の補助金との重複に有効性が市民に認識されていると捉えていることから、考えておりません。



どうなる米価格

補助をすることになったが、本市でも米価格への直接補助など必要と思われるが、対応は。
答弁 本市としては、今現在、米価格への補助は考えておりませんが、しかしJA等で米の概算金の下落に伴う単独資金による制度を創設予定もあることから、本市としては、その資金制度に対し利子補給等を検討していきたいと考えております。

市民の健康管理について

質問 特定検診が始まってから全国的数値と比べてどうなっているか。保健指導を取り組む中で改善された点や今後の課題は何か。

答弁 市の特定検診の受診率は年々上昇し25年度で34・2%とほぼ県と同じです。25年度に特定保健指導の対象となった人は265人おり、すべての人を対象に保健師や管理栄養士が家庭訪問を行い前年に異常値であった人の17・9%の人が正常値に戻りました。課題は訪問しても会えない人や保健指導に理解を示さない人もいるため特定検診、保健指導と医療費の関係についても広く市民に周知してまいります。生活習慣予防教室も引き続き行います。

「イクメン手帳」について



菅原理恵子
議員

質問 趣向を凝らして男性が積極的に育児参加できる施策づくりとして、全国の自治体で作成が進んでいる、イクメン手帳やイクメンハンドブックなど、本市での導入の考えは。

答弁 少子化・核家庭化が進む中、父親の育児参加は重要な課題と捉え、今年度より子育て支援事業の一環として、食生活改善部会、母子愛育部会、子育てサークル等の団体が協働企画して、妊娠中や子育て中の育児不安の軽減などを目的に、子供の健全な発育・発達を支援する「子育てふれあい広場」

を開催。男性の調理実習・沐浴体験など、男性の育児参加にスポットを当て、12月7日に開催し、20名ほどの男性陣の参加がありました。「イクメン手帳」については、県が発行している「父子健康手帳」を今年度交付しています。



「父子健康手帳」
県発行

超高齢化対策について

質問 75歳以上の一人暮らしや高齢者世帯に対し、保健師や看護師が家庭訪問し、高齢者の健康管理を適正医療を提供する定期巡回時対応型訪問介護・医療の実施等については。
答弁 訪問サービスについては、

対象者に基本チェックリストを用いて、現行の訪問介護相当、緩和した基準によるサービス、住民主体によるサービス、短期集中予防サービス、移動サービスのいずれかに該当するか判断。本市ではサービスを類型化し、基準や単価を定める必要があります。事業移行までに関係機関と調整を図りながら、必要な専門職確保を検討してまいります。

質問 要援護者情報の名簿化と避難者支援プラン個別計画と支援体制整備については。
答弁 社会福祉協議会と連携して、一人暮らしの高齢者及び高齢者世帯について、要援護者台帳として名簿化しており、災害時要援護者避難支援計画に基づき、避難行動要支援者として登録管理。一人一人の個別計画が可能になるよう、

支援体制の整備に努めてまいります。
質問 軽度要援護者への在宅福祉サービスの現状及び課題、今後の進め方は。
答弁 介護保険制度の見直しで、介護予防給付のうち、訪問介護、通所介護が地域支援事業に移行され、介護予防ボランティアや民間

事業者等による家事援助、地域での身近なサービス提供が可能となり、要援護者の在宅福祉サービスの充実・強化につなげてまいります。
質問 認知症については。
答弁 県の認知症サポート医による「もの忘れ相談会」を年4回開催し、認知症の早期発見に専門医が対応できる体制に整備に努めてまいります。

再生可能エネルギーについて



大谷 貞廣
議員

質問 秋田県が秋田市、潟上市の沿岸の県有保安林、約630haを活用する風力発電事業者を公募により2社を選定したが、想定される20年間の事業展開について行政としての取り組み見解を伺う。
①環境影響評価の対応は。
②主要部材を造る事業所の拠点づくりは。
③メンテナンスなど地元企業の活用は。
④太陽光発電事業、発電量を含めた現状は。

⑤ソフトセルロース活用プロジェクトの現状は。
答弁 ①潟上市環境基本条例第16条により、国・県と連携し、注視します。
②メーカー工場で製造、拠点づくりは難しい。特殊技術の必要がない部分は地元企業へお願いする方針です。
③地元から雇用する方策を今後も求めます。
④メガソーラーは3箇所稼働、年間発電量180万kWhで一般家庭540世帯相当分、建設中のメガソーラーは、2事業者3箇所、計画年間発電量合計約156万kWhで約1,620世帯相当分です。
⑤川崎重工で製造技術は確立、事業継続は実証結果の検証で判断し



市民風車「天風丸」

農業の活性化について

質問 潟上市の基幹産業も農政と米消費量の減退と供給過剰による米価の下落、生産者が生き残るために、強固な支援をするための行政、関係機関が一体となり、より専門的な体制づくりを強化し適地

適作の奨励について
①農業経営の体制強化は。
②複合化の推進は。
③耕作放棄地の利活用の選択は。
答弁 ①農業のみならず、どの分野でも体制強化というのは大変必要なことだと思っておりますし、今後とも各部門の振興のために体制強化を図ってまいります。
②潟上農業生産力向上事業や国・県の推進事業と合わせて推進してまいります。
③農地中間管理機構等を活用、農業法人や認定農業者へ放棄地を含めた農地集積を進め解消を図り、農業委員会や関係機関と一体となつて解消に向けた対策を推進します。

市資源の活用(耕作放棄地畑)について



西村 武 議員

近年目につくのが耕作放棄地畑で、桃やブドウ、梨の生産地も多く、農家が生産にかかわっていたが少子高齢化で後継者不足により、こうした放棄地を市が集積し六次産業の推進や市内外を問わず希望者に貸し付けを行うなど、資源の活用に対し考えは。

本市の畑地面積は105ヘクタールで、果樹や和梨に占める面積は64ヘクタールで農業委員会の耕作放棄地の調査結果を踏まえ、平成26年4月に創設された農地中間管理機構等を活用しながら、農地集積を進め、解消を図ることも

一つの方法と考えています。農園の貸し付けについては市内外の方々からの新規参入等により活性化に寄与するものでもあり、関係機関と協議を重ね検討したいと考えています。



耕作放棄地

市の自然災害への対応について

地球の温暖化等もあり大型台風や、集中豪雨などで日本列島被害をもたらしている。先般秋田県は土砂災害警戒地域や、土砂災害特別警戒区域を全県で合わせて

米の需給価格安定に関する要望書の提出について

平成26年産米の概算金は県産あきたこまちが過去最低の60キロ当たり8,500円で前年度比で3千円の減額となり本市農業者は失望感と生産意欲を失っている

2,262箇所と定めたが本市も含まれているのか、含まれているとするれば対応策は。市内の土砂災害危険箇所数は、急傾斜地崩壊危険箇所58箇所、土石流危険渓流53箇所、地すべり危険箇所1箇所、計112箇所です。いずれの区域も指定に向け、県と調整中であり、現在指定されている箇所はありませんが危険と思われる箇所は現地調査を実施し対応しています。

ツトがあると思うが。複合施設は、骨組みや肉づけに相当な時間が必要となります。

八郎潟ハイツ跡地の活用について

八郎潟ハイツ跡地の活用について決まったということなのか。決定したのではなく、現在

用」とあるが、どのような設備を要するのか。天王コミュニティ防災センターとの役割分担は。県の中央地区備蓄分の湖東地区分を検討中です。周辺市町村との話し合いは、行っておりません。避難所機能にあわせ、救援物資の受け入れ、仕分け、保管及び出庫を行う施設、また、避難場所等

新庁舎建設後の旧昭和庁舎の利活用(案)について



小林 悟 議員

検討委員会の報告書にない「認定こども園」を提示した理由は。最初から除外するのではない

く、議会、市民の皆様から議論を深めていただくため、提案したものであります。

「認定こども園」について、最初に保護者の意向を調査するのではなく、先ずは地域の意向を第一に把握することが順番だと思っ

「認定こども園」として活用するのは、市民が自由に出入りできる複合施設の方がよりメリ



昭和庁舎

「認定こども園」として活用することについて、教育委員会では検討されたのか。教育委員会での審議は、今後、保護者の理解を得られれば、

に輸送する施設第二次物資集積拠点とした機能を有する施設として考えています。自衛隊、警察、消防等の部隊集結時の離発着場所としての活用を考えているが、具体的な設備や機能は今後、検討することとなります。被災状況等を考慮した避難場所として、それぞれの施設を活用していくこととなります。

旧町・施設の利活用計画について



佐藤 義久 議員

既存庁舎周辺の市民は過疎化に不安を抱えているのが事実です。昭和の庁舎改修は大改修になる。中央保育園を改築した場合と比較、検討は。また、幼児教育の面から小学校との隣接は、子供たちの交流など環境では効果があり

子供、保護者には共感を持たれる施設と考えるが。2億4千万円はあくまでも



昭和庁舎内の様子

目安、別の場所に新築した場合は6億円と見込んでおり、まずは保護者の意向が第一です。天王庁舎の敷地の売却は地域の活性を計画する方を選定して頂きたい。また年金受給のために郵便局に訪れた際の駐車場に苦慮されている。公共の駐車場を望む方も少なくないが。天王庁舎跡地には、公共駐車場は今のところ計画はありません。

八郎潟ハイツの跡地利用計画案は住民の意見と市の計画と乖離した面があると感ずる。地域住民は接待や宿泊の場としてこれまでの施設を想定してのもので、数多くの交流の場と来客の際には秋田や大潟村のホテルに送迎し大変不便されているとのことです。地域

住民はアンケートを取るべきとか意見を求めています。また山の上、坂道ということで「不要論」まで出ている状況にあるが。基本コンセプトを4つほど設定し、検討を進めています。議会への説明に加え食事の提供も可能な施設とします。宿泊や健康者マンションは検討過程ではありませんが現在はありません。今後は地域の意向を再検討し市議会との協議、地元の合意を得るよう努めますがアンケート調査は予定していません。

大久保駅改築計画の進捗は

大久保駅の改修案、トイレの水洗化は論を待たずにでもありますが、西乗降口についても東西自

由通路も待望が市民の総意。協議や打ち合わせの進捗状況とJR側との協議後の市の計画は。利用者のためトイレの改修を含む駅舎の改修と駐車場の狭隘解消を優先して事業を進める協議をし、26年度中に設計完了の協定を交わし、27年早々に施工協定を締結する予定です。「摂政の宮さま」の御手植えの松がありました。これは後の「昭和天皇」の行幸記念の品です。跡地として地域振興の手段と歴史の1ページかと思うが。大正14年の豊川油田を視察の時と考えられます。枯れて植え替えたとの話もありますが、記念碑も無く昭和町史等では確認できませんでした。地域の玄関口、皆

から喜ばれるよう整備したい。

平成26年10月31日に県正庁で伝達式が行われ、本市議会からは次の方が受賞されました。



千田正英氏 (74歳) (天王字上江川)

平成元年に天王町議会議員に当選され、平成17年からは潟上市議会議員として、社会厚生常任委員長、市議会議員、秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員長などをとめられています。

この度、秋田県地方自治功勞の受賞につきましては、ひとえに、多くの市民の皆様のご温かいご支援、ご協力の賜ものと深く感謝申し上げます。

今後、更なる精進を重ね、市民の声を市政に反映させるべく努め、地方自治の力強い発展に寄与して参る所存です。

平成26年12月定例会各議員の賛否一覽(全会一致を除く)

((○):賛成, (×):反対, (-):議長)

会派名	議案等		請願第1号 農業委員会、企業の 農地所有、農協改革 など、「農業改革」 に関する請願	陳情第13号 消費税10%への引 き上げの中止を求め る意見書の提出につ いての陳情	陳情第18号 道路(歩道)整備に 関する陳情
	氏名				
新生クラブ	代表	小林 悟	○	×	×
		千田 正英	○	×	○
新 星 会	会 長	藤原 幸雄	○	×	×
	幹事長	西村 武	○	×	×
		鏡 仁志	○	×	○
		堀井 克見	○	×	○
		佐藤 敏雄	○	×	×
政友平成会	代表	大谷 貞廣	×	×	○
		児玉 春雄	×	×	○
		澤井 昭二郎	○	×	○
改革クラブ	代表	佐々木 嘉一	○	×	○
	副代表	戸田 俊樹	○	×	○
		鈴木 斌次郎	○	×	○
		菅原 久和	○	×	○
		中川 光博	○	×	×
会派に属さない	日本共産党	藤原 典男	○	○	×
	公明党	菅原 理恵子	○	×	×
	新星だるま会	佐藤 義久	×	×	○
	民生クラブ	伊藤 正吉	○	×	×
	議長	伊藤 榮悦	-	-	-
結 果			採 択	不採択	採 択

編集後記



あけましておめでとう
ございます。

新生潟上市は誕生以来
10周年となり、この度の
第4回定例会及び昨年1
年の議会活動は大きな括
りの意味では議会の在り
方と意義を確認する事と
受け止めております。

振り返り昨年は多事多
端の年でありました。2
月には任期満了による一
般選挙があり市民の審判
をいただきました。また、
開かれた議会、市民参加
の議会をめざして、議会
基本条例、議員政治倫理
条例が施行されて1年余、
議事機関としての議会は、
自ら、改革の旗を掲げ、
進化する議会としての第
一步を踏み出した意義深
い年でありました。本年
もよろしくお願い致しま
す。

(佐々木嘉一記)